

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日の朝礼夕礼で理念の唱和を行い職員への周知を行っている。理念に基づいた介護サービスを心がけている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域の方への交流において認知症の人の理解を得ている。運営推進会議などを活用して地域の一員としての交流を行っている。 ・地域民生委員や福祉協力員の見学会など、地域の要望に応えている。	・地元収穫祭に参加させていただいたり、近隣の学童保育の子供達と交流させていただいている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議を通して地域の情報を共有して関りに活かしている。地域の代表者や行政からの話し合いをサービス向上に活かしている。	・定期に開催されるこの運営推進会議において、活動報告を通じて地元と交流を深めている。		・地域の代表者の意見を取り入れ行事へ参加している。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・開設にあたり様々ご指導いただいたことで問題なく運営をおこなっている。また不明な点等があれば連絡して解決できるような連携体制がとれている。	・この場に伊賀市高齢福祉課と地域包括職員、地元役員に参加いただき連携を行っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・拘束や虐待については実例を交えて定期的に勉強会と研修を行い実践に活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・身体拘束と虐待の違いも充分理解しておくことが必要。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修を通して学ぶことにより知らないうちにしてしまっているというような事がないようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・相手の受け取り方でも変わってくる。利用者の感情など、気を付けて観察するようにしてほしい。 ・ヒヤリハットからも虐待につながるような件は見受けられない。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・後見制度を利用している方は今のところいないが研修を行い対応できるようにしている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時には一つ一つの項目を丁寧に説明しながら疑問点や不安なところを確認しながら進めている。変更時には電話や手紙などで周知を図り理解を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日ごろから家族様との連絡を密にとることが出来ている。日常的に来所いただいた時や電話いただいた時など常に意見を聞く機会がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者や家族の満足度アンケートなどを定期的にとってみても良いと思われる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・管理者が対処可能な意見や提案はその場で反映させることは出来る。大きなことは地区長から経営陣に伝わる仕組みがある。また年に一回夢会議を行い現場の意見が経営者に届くような制度がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・会社として福利厚生や給料面での向上をしている。評価制度があり能力だけ得なく努力や人間性なども反映させ昇給につながるようになっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・キャリアアップによるベースアップなど継続して勤務することによる評価など、色々取り入れてほしい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎月、認知症や虐待など6項目にわかれた研修を実施しており、それとは別に経験や役職に応じた研修を行っている。外部の実践者研修など受講を進めていく。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修を受けたことで、どれだけフィードバックすることも必要。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域の同業者と職員が交流する機会が今のところ出来ていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・可能な利用者には家事やレクリエーションのお手伝いをお願いし生活を共にしていると感じながら過ごして貰えるよう、手伝いが難しい利用者にも一緒に考えて貰ったり会話から生活感を持ってもらえるような働きかけを行って共同生活の場を実感してもらっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族様には来所いただいたり出来るはそのほかの馴染みの人には会う機会が少ない。家族様を通して馴染みの場所などに行くことなどは出来る環境にある。	・利用者家族全員が定期的に面会に来られている。6名は家族以外の親戚なども面会に来られている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・日常のかかわりの中で会話・表情の変化等しっかり観察し結果を予測しながらではあるが本人本位の生活が送れるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・関係者の意見などを介護計画に反映させている。コロナ対策が緩和され家族や外部関係者とも交流が持てるようになっていので介護計画に反映させている。	・毎月のケアカンファレンスと定期のモニタリングを実施する事によりタイムリーなチームケアを行うことが出来ている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者ファーストで取り組んでほしい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・連絡等や申し送りなどで職員同士の情報共有に努めている。得られた情報は職員会議等で話し合い介護計画の作成・見直しに活かされている。記録に関しては電子化に移行中である。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・情報共有不足によるヒヤリハットなどよくあるので充分注意して欲しい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・大まかに予定している支援でもその人の状況に寄り柔軟な支援を行うようにしている。	・ご本人や家族の状況に応じたニーズに対応できる様に心がけている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・地域の情報を知る事により地域の一員として生活できるよう支援を行っている。	・地元の活動へ積極的に参加させていただいたり、地域住民を施設に招くことで社会資源としての機能を果たしていく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・受診は家族様に相談しながら家族様対応でお願いしている。また看護師を非常勤で雇用した上で訪問看護とも契約し24時間連絡がとれる体制をとっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	・利用者が入院した際、安心して治療できるように、またできるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者が入院された際には病棟には普段の様子や気を付けて欲しいところを伝えるようにしている。ソーシャルワーカーとは病状の経過や退院に向けた情報の提供を受けられるよう定期的に連絡をとっている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者や家族が望めば退院後も戻ってこれよう配慮してあげてほしい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・看取りに関してまだまだこのホームでは経験がないが契約時に看取りや重度化についての説明を行い、そのような場合には本人と家族様の意向を伺い対応をしていく。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・なかなか難しいことと思われる。本人、家族との話し合いも大切であるが、職員のメンタルも確認しておいた方が良いと思われる。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・急変時や事故発生時の初期対応はフローチャートを用意して統一化している。また救急対応の講習参加もコロナ対策の為見合わせていたが再開を予定している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・水害は考えにくい地域である。地震や火災などに慌てないように年2回の訓練を行い安全に避難できるようにしている。	・柘植地域の防災活動と連携して情報共有し、より安全な避難計画を構築していく。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・災害が起きるときは、ほとんどが想定外のことので起きているので訓練のとき以外でも機会があれば想像してみるというのも良いかもしれない。 ・年2回の実績が確認できた。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・プライバシー、特に排泄やご家族のことに関しては特に注意を払いながら支援している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・異性による介護について気にする利用者もいるかと思う。もしそういうことがあるなら利用者への確認が必要かも。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・職員都合ではなく個人の希望や意向を尊重しながら日々を過ごして頂けるよう努力している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・食事には特に力を入れている。日常の楽しみにおける割合が大きく生活の質の向上につなげている。また準備や調理・片付けなども一緒に行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎日のことなので、大変と思われる。 ・利用者と職員が一緒に準備等を行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・個人の記録には食事量や水分量を記載し一日を通じての摂取量を把握できるようにしている。食事にかかる時間などそれぞれなので個人を大切にした支援を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎食後の口腔ケアでは出来る方は歯磨きを、そうでない方にはうがいや職員が預かって義歯の清掃やサポートを行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・口腔ケアは、健康を維持するうえで、非常に重要と言われているので充分に取り組んでほしい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・自発的にトイレに行けない方には時間をみて声掛けや一緒に行く等の支援を行っている。便秘傾向の利用者にはヨーグルトやオリゴ糖・乳酸飲料の摂取で予防や改善に取り組んでいる。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・排泄対応など実際、なかなか大変なことであるが、充分取り組んでほしい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入浴は安全のため職員体制の充実した時間帯にお願いしているが、体調不良など柔軟に対応している。 ・入浴時には浴槽に入ることが好きな利用者にはゆっくりと、嫌いな利用者にはシャワーでと個別に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者は自由に居室とホールを行き来し休息をとったりテレビを見たりして過ごしている。寝具は定期的に洗濯や日に干して気持ちよく清潔に保っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・処方薬は看護師が管理し服薬支援での間違いがないよう職員間でダブルチェックを行っている。個々の処方薬情報も貰っている。服薬に限らず症状や体調の変化があった時は薬局や主治医に相談している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・服薬の間違いなどが、ヒヤリハットや、事故などでもよくあがっている。取り扱いには充分気を付けてほしい。 ・他事業所にてヒヤリや事故が多発しているため、ダブルチェックだけに留まらず支援に努めてほしい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や好きなことは家族や本人に聞きながら情報の収集を行っている。調理では盛り付けや食器拭きのお手伝いを、一緒にフロアの掃除をしたり、畑仕事の好きな方には家庭菜園や近所の畑見学等の支援をしている。	・残存機能の維持だけでなく未経験の事にも「お手伝い」という活動を通して取り組んでいただいている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日常的な散歩などをおして地域の方との交流をとるようにしている。家族様にも協力をしていただき外出を行ってもらっている。	・家族様の協力を得て自宅へ一時帰宅される方もおられる。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人のおこづかいは事務所で一括して預かっている。外出での買い物に出かけた際には可能な方は自分で支払いをして頂く。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・電話や手紙のやり取りはあるが少ないので年賀状など今後の支援を行っていく。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設は全館バリアフリー、必要な場所には手すりがついている。共用のトイレやお風呂には一目でわかるような工夫をしている。大きな壁には季節に合った飾りつけや利用者の作品を掲示して季節感を感じてもらっているが華美にならないよう気を付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日常生活空間として適度な空間づくりをお願いしたい。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・入居者は自室とホールを自由に行き来されホールで皆と交流したり自室で休息したり自分のペースで過ごされている。起床や就寝については大まかな時間はあるが個人の意向にそって支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・生活歴などはアセスメントを通じて計画に反映させている。日ごろから家族様との話の中での情報を大切にし支援につなげている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・安心して暮らせる生活面では各居室はそれぞれ職員が担当し個人の状況に応じた配慮・工夫を行っている。健康面・医療面では訪問看護により定期的に状況を把握し対応している。また日々のバイタル測定などを通じて日々の変化に気付けるようにしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・ここでの訪問看護はどのように提供されているサービスなのか。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・ホームとして基本的な日課はあるがこれまでの暮らしの習慣があれば優先できるよう努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・居室のレイアウトは本人・家族にまかせている。また折に触れなじみのものを身近におく効能等も家族に話をして理解を得ている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・危険なところはないかだけ確認はしてほしい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・本人の意向や職員の声掛けに寄り戸外に散歩をおこなったり、地域のイベントに参加出来ている。	・天気の良い日は、ご本人の意向を聞きながら近所へ散歩へ出かけている。地域の催しに参加させていただいている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・入居者それぞれの出来る事やわかる事・逆にそうでないことをしっかり把握し無理のない範囲で役割を持つことで得られる張り合いや楽しみを提供している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・入居者間の会話などのサポートを職員が行い、生き生きと過ごせる暮らしを模索しながら日々の支援を行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・利用者間での些細なトラブルも多々あると思われるがサポートをお願いしたい。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域との関りを持つために参加出来るイベントなどに参加している。またホームに学童の子供さんを招き交流を行っている。	・地域住民との関りは常に情報共有しながら行っている。		・2ユニットということでそれぞれ同じようにするのかそれぞれ特色を出すのか、いろいろと検討されるのも良いかも。
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・GHという小さなコミュニティではあるが小さいなりの利点や強みを活かし安心して暮らせる我が家を目指していく。	・地域密着型サービスの利点や強みを活かして、よりパーソナルな対応、ケアを提供できている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	